平成27年	E度事務事業評	価シート	該当事業(記) 一般事務	平価対象外事業は基 公共建設事業	
事務	§事業名	漁業近代化	資金利子補給事業		H I Ima v 3 S34 v 1 3 v S14
	<u> </u>	6 款	3項 2目	-	
総合計画	での位置付け	産業の振興 水産業の振	<u>~もりもり元気なし</u> 興	こことづくり~	
所管	京課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線)): 579
記入	者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	福積 和富
事業	美の性格 おんしゅん	内部管理事	務		
	施期間			【開始年度】設定なし	,
事業	美の対象 おおり かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう		その組織する団体		
根拠法令等	漁業近代化資金利子	補給に関する条(例及び同条例施行規	則	
事業の目的	漁業者及び漁業団体I 漁業の振興に資する。	こ対し低金利の副	触資を円滑に実施する	5措置を講じ、漁業経営 <i>0</i>	D近代化と合理化を図り
事業の内容	条例に基づき、漁業協 業者に対し1%の利子を			目の取替え等に必要な近	代化資金を借り受けた漁
改善策の 具体的 取り組み (当初)					
改善策の 具体的 取り組み					

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
	直接事業費	0	450	137	267
事業費	人件費	0	402	241	402
	合計	0	852	378	669
	人工数	0.00	0.05	0.03	0.05
人件費	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	402	241	402
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	852	378	669

	事業活	動の実績(活動	加指標)		
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
漁業近代化資金利子補給承認件数	件	20	20	17	18

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
在由	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
十段	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000

		成果指標		
成果指標	漁業近代化資金の利子補給	給件数(累計数)		
指標設定の 考え方	事業効果として、資金借受 給件数(累計額)を指標値と	者の金利負担を軽減し、融資 とする。(目標値は設定しない	贅が円滑に行われたかどうた ヽ 。)	>を測定するため、利子補
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	50	0	0	0
実績	0	0	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	3	
	妥当性	市民ニーズへの対応	3	С
		市の関与の妥当性	3	
自己評価		事業の効果	3	
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性		3 C
()三二良江省/		施策への貢献度	3	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	С
		受益者負担の適正	3	
	遅滞なく予算を執行す	న 。		
課題認識				

		一次評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	3	С
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	4	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	3	В
()//南汉/		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	4	В
		受益者負担の適正	4	
		、の利子補給事業であり、漁業振興には不可欠な事業で う事務のため介入の余地は少なく、引き続き制度周知を		
課題認識				

	二次評価
二次評価	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
(所属部長)	
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	